

## 第19回環境情報科学センター賞 受賞者

### 技術開発賞

受賞者：村上 暁信 氏（筑波大学システム情報系社会工学域）

熊倉 永子 氏（首都大学東京都市環境学部／現 国立開発研  
究法人建築研究所）

斉藤真里佳 氏（筑波大学生命環境科学研究科／現（株）長谷  
エコソリューション）



対象業績：津波で失われた景観のデジタル再現と記憶の抽出

#### 【受賞理由】

受賞者は、東日本大震災で甚大な津波被害を受けた地域を対象として、新たな景観再現手法で津波前の集落の姿を精緻に再現し、次世代へ継承するための一連の方法を開発・提案した。その方法には多くの優れた点がある。まず、高度で緻密な三次元デジタルモデルを作成するとともに、被災者へのインタビューによる検証を地道に重ねることで、高い再現性を有している点である。また、その過程で被災者に思い出を語ってもらうことで、日常の景観と記憶を結びつけることに成功している点である。震災を思い出したくない、話したくないという人も多いなかで、現地に入り地元のかつての生活の場の記憶を呼び起こし、コミュニティ意識の醸成にも生かされている点はとくに高く評価できる。スマートフォン等により誰もが容易にアクセス・閲覧できる仕様にした点も、技術の普及・浸透という点から有用性が高い。このように、高度な情報処理技術を駆使しつつ、被災者に寄り添う姿勢を貫くことで、すでに地域社会に受容されるなど顕著な成果を上げるとともに、多くのメディアでも取り上げられ、全国的な反響を得ている。

以上の点から、受賞者らの取り組みは、学術的新規性のみならず社会還元という点でもきわめて意義あるものであり、津波で失われたまちとコミュニティの再生に大きく貢献した技術として、環境情報科学センター賞・技術開発賞にふさわしいと判断した。